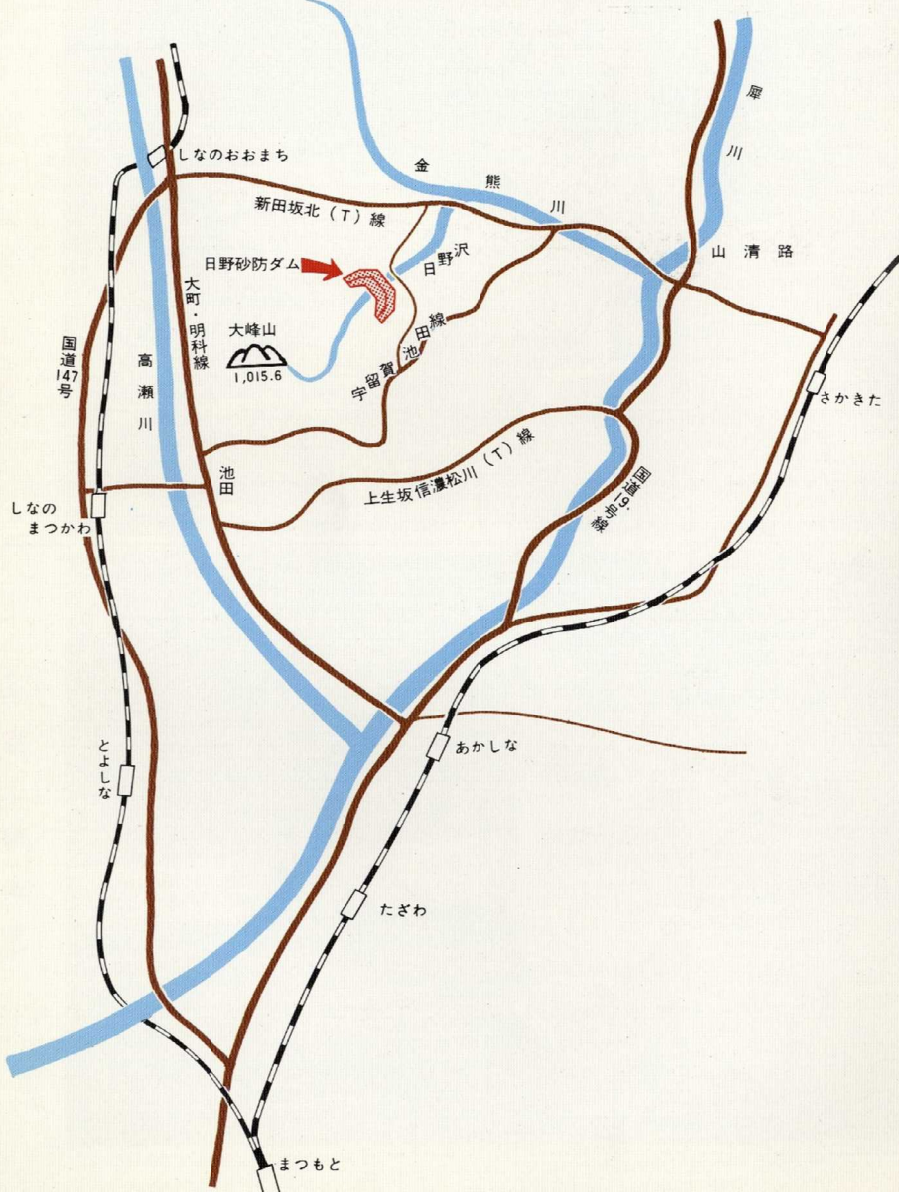


ダム位置図

S = $\frac{1}{200,000}$



日野砂防ダム



1975

犀川砂防事務所
池田町

ダ ム 諸 元

1. 河川名 信濃川水系犀川支金熊川小支日野沢
 2. ダムの位置 長野県北安曇郡池田町大字広津字日野
 3. ダム計画の諸元

流域面積	3.9km ²	現況河床勾配	1/20
最大時間雨量	60.0mm	計画河床勾配	1/40
流出系数	0.80	計画堆砂量	142,000m ³
土砂混入率	20.0%	有効貯水量	100,000m ³
比流量	16.0	湛水面積	14,900m ²

4. ダムの概要

(1) 型式 コンクリート重力式 (表法 1 : 0.2 裏法 1 : 0.55)

(2) 主要部寸法 (単位・m又はm²)

各部	工種	本ダム	副ダム	側壁水叩部		摘要
				側壁	水叩	
堤長		66.70	33.20	(R)22.98 (L)29.58	19.78 ~26.18	
堤高		19.00	6.50	(R)7.90 (L)8.90	1.20	
天巾		2.00	2.00		11.82	
底巾		16.25	4.93	(R)2.87 (L)3.17	11.10	
立積		8,000.57	735.38	758.39	325.91	ΣV=9,820.25

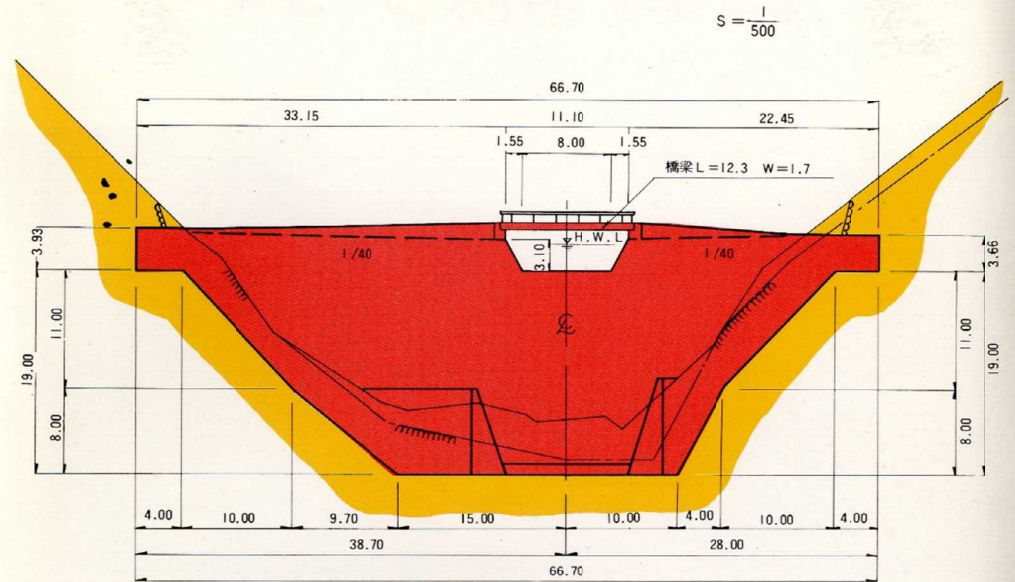
5. 事業費

175,000千円 (昭和47~49年)

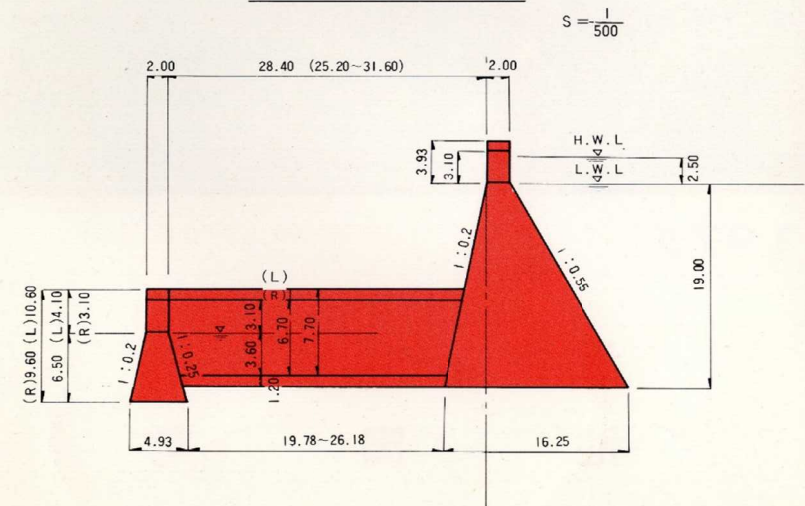
6. 事業効果

耕地安定	人家	道路	橋梁	かんがい面積
30.0 ha	5.0戸	3,000m	3ヶ所	15.0 ha

正 面 図



側 面 図



ご 挨拶

町民待望の日野ダムが見事に竣工され、感謝感激の至りでございます。
郷土の保全と安定は繁栄への基礎的条件であります。日野沢は過去幾度か大きな災害をもたらし、特に昭和21年8月の豪雨により、人家1戸・土蔵1戸・共同水車小屋3戸・橋梁4ヶ所が流出し、2名の尊い人命を失い昭和34年8月の台風7号により、死者1名・橋梁4ヶ所・耕地5haの流失を見た経緯をもってあります。以来日野沢の根本的治水対策として、日野ダムの建設を強く念願してまいりましたが、県ご当局のご理解と建設省のご高配をいたゞき、着工の運びとなり、この偉容を誇る日野ダムの竣工の喜びを迎えたのであります。茲に関係者各位のご厚情を深く感銘し、深甚なる敬意と感謝を申し上げる次第でございます。日野ダムの完成により治水は万全となり、加えて諸般の産業に益すること頗る大であります。日野ダムの完成こそ池田町山間地帯発展の定礎であり、ダムの効用が地域の発展に限りない力を発揮されることを祈念してご挨拶いたします。

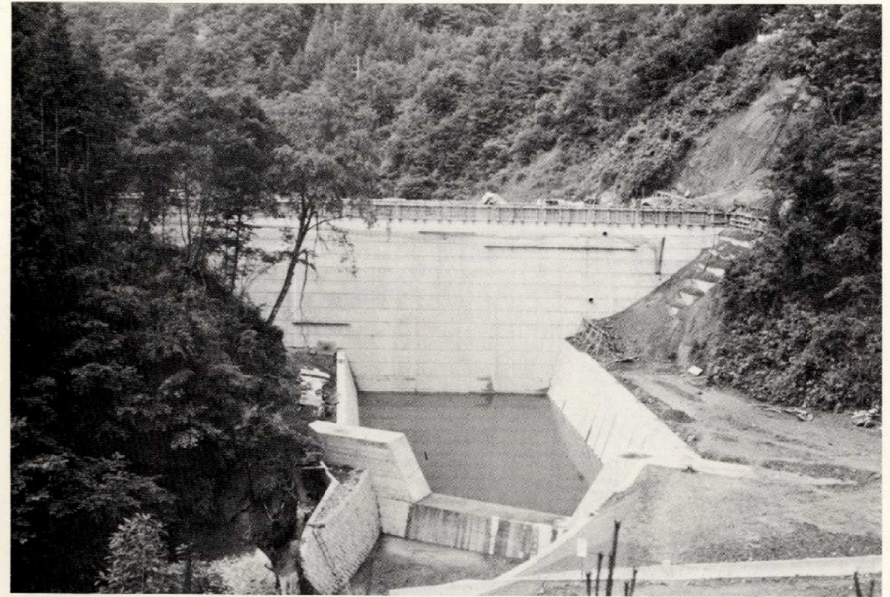
昭和50年5月

池田町町長 高山 令治

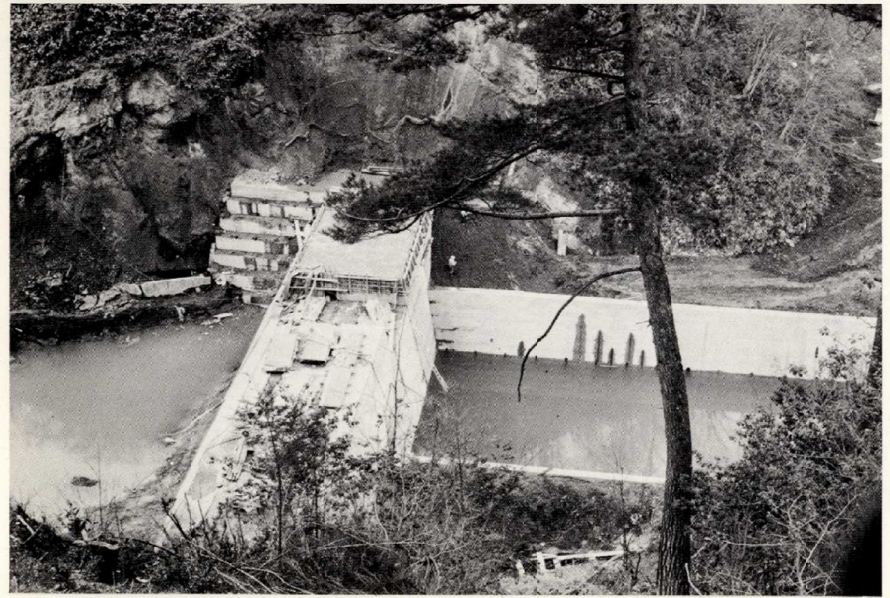
日野砂防ダム概要

日野沢は池田町の北東部（広津地区）中山山系大峰（標高1,015.6m）に水源を発し、多数の小溪流を合流し、一級河川金熊川に合流する延長約4.0Kmの荒廃河川である。本地域は才三紀層に属し山地は一般に急傾斜面をなし表層の滑落 溪岸の浸食が甚だしく土砂生産が活発で豪雨時の流下土砂は度々下流に被害を起こしている。特に近年では昭和21年8月13日、同34年8月14日の災害は流域一帯に甚大な土砂害を及ぼし人命財産に多大な被害を与えた。

尚ダムの完成は地域住民が永年待望したもので治山・治水そして観光開発の面で大きな期待がもたれている。



ダム工事中（正面）



（右岸上部より）